

4. ESC/P コマンド

本プリンターには、EPSON ESC/P コマンドをエミュレートする機能があります。
詳細は、ESC/P リファレンス・マニュアル (EPSON) を参照してください。

4. 1 ESC/P コマンド一覧

4. 1. 1 文字/スタイル選択

ESC R	国際文字選択
ESC k	書体選択
ESC t	文字コード表選択
ESC x	文字品位選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定/解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC 6	上位側コントロール・コード解除
ESC 7	上位側コントロール・コード指定

4. 1. 2 水平方向移動

BS	後退
HT	水平タブ実行
ESC D	水平タブ位置設定
ESC \$	絶対位置指定
CR	印字復帰
ESC l	左マージン設定
ESC Q	右マージン設定
ESC ¥	相対位置指定

4. 1. 3 改行

ESC 0	1 / 8 インチ改行量指定
ESC 2	1 / 6 インチ改行量指定
ESC 3	n / 180 インチ改行量指定
ESC +	n / 360 インチ改行量指定
ESC A	n / 60 インチ改行量指定

4. 1. 4 用紙書式

ESC C 0	インチ単位ページ量設定
ESC C	行単位ページ量設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除

4. 1. 5 プリンター制御

BEL	ブザー
DC1	デバイス・コントロール 1
DC3	デバイス・コントロール 3
CAN	データ抹消
ESC U	単方向印字指定／解除
ESC @	初期化
ESC EM	カット・シート・フィーダー制御

4. 1. 6 テキスト印字

ESC w	縦倍拡大指定／解除
ESC -	アンダーライン指定／解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
ESC S	スーパー／サブスクリプト指定
ESC T	スーパー／サブスクリプト解除
DEL	1文字削除
ESC M	12CPI 指定
ESC g	15CPI 指定
ESC P	10CPI 指定
ESC W	倍幅拡大指定／解除
SI	縮小指定
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SI	縮小指定

ESC SP	文字間スペース量設定
ESC !	一括指定
DC2	縮小解除
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC p	プロポーショナル指定／解除

4. 1. 7 垂直方向移動

LF	改行
VT	垂直タブ実行
FF	改ページ
ESC J	n / 180 インチ順方向紙送り
ESC B	垂直タブ位置指定
ESC b	VFU タブ位置設定
ESC /	VFU チャンネル指定

4. 1. 8 その他

ESC &	ダウンロード文字定義
ESC :	文字セットコピー
ESC <	リターンホーム

4. 1. 9 グラフィック・コマンド

ESC K	8ビット単密度ビットイメージ
ESC L	8ビット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ビット倍速・倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ビット4倍密度ビットイメージ
ESC *	ビットイメージ選択
ESC ?	ビットイメージモード変換

4. 1. 10 漢字コマンド

FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字解除
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS -	漢字アンダーライン指定／解除
FS .	漢字モード解除
FS 2	外字定義
FS D	半角縦書き 2 文字指定
FS J	漢字縦書き指定
FS K	漢字横書き指定
FS S	全角文字スペース量指定
FS T	半角文字スペース量指定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
FS W	4 倍角指定／解除
FS k	漢字書体選択
FS r	1 / 4 角文字指定
FS x	漢字高速印字指定／解除

4. 1. 11 拡張コマンド

ESC [s	バーコード登録
ESC [d	バーコード・データ登録
ESC [p	バーコード印字要求

※本機固有のコマンドです。

詳細については「付録 C の 4. 3 拡張コマンドの詳細」C-54 ページを参照してください。

4. 2 ESC/P 制限事項

—位置揃え選択 (ESC a) 機能は使用できません。

—書体選択 (ESC k) 機能は使用できません。

4. 3 拡張コマンドの詳細

ESC [s n1 n2

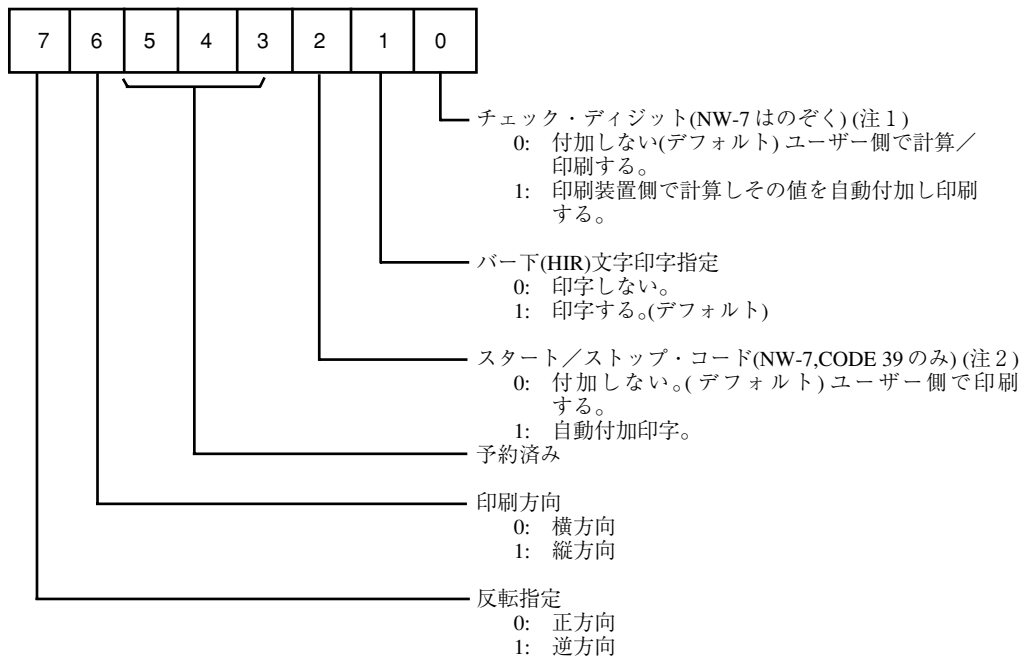
名 称	バーコード登録
コード	1BH 5BH 73H <n1> <n2> <k> <m> <s1> <s2> <s3> <s4> <v1> <v2> <c> または 27D 91D 115D <n1> <n2> <k> <m> <s1> <s2> <s3> <s4> <v1> <v2> <c>
ヘーシック・フォーマット	CHR\$(&H1B); "["; "s"; CHR\$(<n1>); CHR\$(<n2>); CHR\$(<k>); CHR\$(<m>); CHR\$(<s1>); CHR\$(<s2>); CHR\$(<s3>); CHR\$(<s4>); CHR\$(<v1>); CHR\$(<v2>); CHR\$(<c>); または、 CHR\$(27); CHR\$(91); CHR\$(115); CHR\$(<n1>); CHR\$(<n2>); CHR\$(<k>); CHR\$(<m>); CHR\$(<s1>); CHR\$(<s2>); CHR\$(<s3>); CHR\$(<s4>); CHR\$(<v1>); CHR\$(<v2>); CHR\$(<c>);
機 能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本コマンドはバーコード規格等を登録するコマンドです。 ・ 本コマンドだけでは、印刷バッファーには登録されません。 ・ <n1>, <n2> は、以降のパラメーターの数を指定します。パラメーター数は $\{(\text{<n2>} \times 256) + \text{<n1>}\}$ により得られます。 また、n1=0, n2=0 の場合は、登録データ全てが初期化されます。 ・ <k> は、バーコード規格を表します。規格と <k> との対応は以下の通りです。下記以外の <k> の値に関しては、<k>=0 と同様に扱います。

<k>	規格
00H	変更なし
01H	CODE 39
08H	JAN 短縮
09H	JAN 標準 (デフォルト)
0AH	INDUSTRIAL 2 OF 5
0CH	INTERLEAVED 2 OF 5
0DH	NW7
11H	CODE 128
1BH	カスタマバーコード

- ・ <m> は基本モジュールの幅を表します。<m> と幅との対応は以下の通りです。
JAN 標準／短縮は、00H ～ 04H まで設定可能で、それ以外は 00H ～ 08H までが設定可能です。この範囲を超えた場合は、すべて <m>=0 として処理されます。

<m>	モジュール幅
00H	変更なし
01H	1 ドット幅 (デフォルト)
02H	2 ドット幅
03H	3 ドット幅
04H	4 ドット幅
05H	5 ドット幅
06H	6 ドット幅
07H	7 ドット幅
08H	8 ドット幅

- ・ <s1> は、バーコードのナロー・スペースの補正ドットを表します。基準となる単位は 1 / 180 インチで補正範囲は、+2 / 180 インチから -2 / 180 インチとなります。
- ・ <s2> は、バーコードのナロー・バーの補正ドットを表します。基準となる単位は、1 / 180 インチで補正範囲は、+2 / 180 インチから -2 / 180 インチとなります。
- ・ <s3> は、バーコードのワイド・スペースの補正ドットを表します。基準となる単位は 1 / 180 インチで補正範囲は、+7 / 180 インチから -4 / 180 インチとなります。(但し、JAN では無効です。)
- ・ <s4> は、バーコードのワイド・バーの補正ドットを表します。基準となる単位は 1 / 180 インチで補正範囲は、+7 / 180 インチから -4 / 180 インチとなります。(但し、JAN では無効です。)
- ・ <v1><v2> は、バーの高さを指定します。高さは、 $\{(v2 \times 256) + v1\} / 180$ インチで表されます。但し、バー下文字がなく高さが、24 / 180 インチ以下に指定された場合には自動的に 24 / 180 インチの高さに設定されます。
- ・ カスタマバーコードでは、その範囲は 5 / 180 インチから 48 / 180 インチとなります。なお、カスタマバーコードでは、高さが 4 / 180 インチ以下 49 / 180 インチ以上のときは、<m> パラメーターのもつ高さの値がセットされます。
- ・ <c> はコントロール・フラグで各ビットは、次ページの通りです。(カスタマバーコードではこのフラグを無視します。)



- 注 1 -

JAN標準／短縮では、チェック・ディジットを自動付加しないときは、バーコード・データ登録コマンドにおいてデータ長をJAN標準で13桁、短縮で8桁にしないとコマンド・エラーとなります。

反対に自動付加の場合は、JAN標準で12か13桁、短縮で7桁か8桁のどちらでも良いですが最後の桁は、チェック・ディジットに置き換わるので13桁、8桁目はデータとして意味がありません。

- 注 2 -

- 1) NW-7とCODE39では、ここでスタート/ストップ・コードを自動付加しないときに、データの先頭と最後にスタート/ストップ・コードが含まれていないと正常に読み取れません。
- 2) CODE39でチェック・ディジット自動付加のとき、ここでスタート/ストップ・コードを自動付加しないと、たとえデータの中にスタート/ストップ・コードが含まれていたとしても、チェック・ディジットは印刷されません。
- 3) ここでスタート/ストップ・コードを自動付加しているときに、バーコード・データ登録コマンドでデータの中にスタート/ストップ・コードが含まれているときは、スタート/ストップ・コードが二重になってしまうので注意が必要です。
- 4) INTERLEAVED2OF5でチェックディジット自動追加を選択した場合は、データ数は必ず奇数にしてください。

・ 水平方向の調整値等が右マージンを越える場合は、登録自体が無効となり登録されません。

ESC [d n1 n2

名 称 バーコード・データ登録

コード 1BH 5BH 64H <n1> <n2> <d1> <d2> …… <dn>
 または 27D 91D 100D <n1> <n2> <d1> <d2> …… <dn>

ヘリック・フォーマット CHR\$(&H1B);"[";"d";CHR\$(<n1>);CHR\$(<n2>);CHR\$(<d1>);CHR\$(<d2>);…;CHR\$(<dn>);
 または、
 CHR\$(27);CHR\$(91);CHR\$(100);CHR\$(<n1>);CHR\$(<n2>);CHR\$(<d1>);CHR\$(<d2>);…;CHR\$(<dn>);

- 機 能
- ・ 本コマンドはバーコード・データを登録するコマンドです。
 - ・ バーコード登録コマンドで指定されているバーコード規格のデータ部を登録するコマンドです。
 - ・ <n1>,<n2> は、以降のパラメーターの数を指定します。パラメーター数は $\{(\text{<n2>} \times 256) + \text{<n1>}\}$ により得られます。また、n1=0、n2=0の場合は、登録データ全てが初期化されます。
 - ・ <d1>…<dn> は、バーコード・データを表します。
 - ・ NW-7及びCODE 39のスタート/ストップ・コードに関して以下の制約があります。以下に記するコード以外が指定された場合は、バーコードは登録されません。また、スタート/ストップ・コード自動付加にしていなときはバーコードはエラーとなります。

<NW-7>

START/STOP CODE	HEX
"a"	61H
"b"	62H
"c"	63H
"d"	64H

<CODE 39>

START/STOP CODE	HEX
"*"	2AH

NW-7の場合、印刷装置自動付加の場合は、"a"に固定。

NW-7の場合で、スタート/ストップ・コード自動付加の時、41H～44Hをスタート/ストップ・コードとして送信した場合は、61H～64Hに変換されます。


スタート/ストップ・コード自動付加にしたとき、ここでスタート/ストップ・コードを追加した場合はコードが二重になってしまうので注意が必要です。

規格	構成	最小長	最大長	文字セット
CODE39	スタート・コード ^{※4} データ文字 スタート・コード	1(3) ^{※1}	255	数字(0-9) 英字(A-Z) 記号(-.SP\$/+%) スタート/ストップ [※]
JAN 短縮	データ文字	7+1 ^{※2}	7+1 ^{※2}	数字(0-9) チェック・キヤラクター(0-9)
JAN 標準	データ文字	12+1 ^{※2}	12+1 ^{※2}	数字(0-9) チェック・キヤラクター(0-9)
INDUSTRIAL 2 of 5	データ文字	1	255	数字(0-9)
INTERLEAVED 2 of 5	データ文字	1	255	数字(0-9)
NW-7	スタート・コード ^{※4} データ文字 スタート・コード	3(5) ^{※1}	255	数字(0-9) 記号(- \$: / . +) スタート/ストップ [※] (a-d) (A-Dはなし) ^{※3}
カスタム バーコード	データ文字	1	255	数字(0-9) 英字(A-Z) 記号(-)

- ※1 カッコの数字は、コントロール・フラグでスタート/ストップ・コードなしにしたとき、ユーザーが追加するスタート/ストップ・コードを含む長さ。
- ※2 +1の数値は、コントロール・フラグでチェック・ディジットなしになったときに、ユーザーが追加するチェック・ディジットを含む長さ。コントロール・フラグでチェック・ディジット追加にしたときには、データは12でも13桁でもよいが13桁目は必ずチェック・ディジットとして計算した値が付加されず。
- ※3 NW-7のスタート/ストップ・コードは、自動付加でないとき大文字のAからDでは小文字のaからdに変換されます。
- ※4 コントロール・フラグでスタート/ストップ・コード自動付加するを選択したときは、ここではデータ文字のみになります。

ESC [p

名 称	バーコード印字要求
コード	1BH 5BH 70H または 27D 91D 112D
ヘーシック・フォーマット	CHR\$(&H1B);[";"p"; または、 CHR\$(27);"91";"112";
機 能	<ul style="list-style-type: none">・ 本コマンドは、バーコードを印字バッファに展開する事を要求するコマンドです。・ このコマンドにより現在の印字位置からバーコードを展開します。・ 印字は、垂直方向移動コマンドにより印字されます。・ 展開されるバーコードがページ境界に掛かる場合は、バーコードは正しく印字されません。・ 境界を超えたモジュールは、印字されずに消去されます。



付録
C

5. PPDS コマンド

本プリンターには、IBM Proprinter XL24 および XL24E をエミュレートする機能があります。この機能を SBCS (Single Byte Character Set) モードと呼びます。また、このとき使用できるコマンドを PPDS コマンドと呼びます。詳細は、Proprinter Guide to Operation (SC31-3793) を参照してください。

5. 1 PPDS コマンド一覧

5. 1. 1 文字／スタイル選択

ESC [I	Set Font Global
ESC 6	Select Character Set 2
ESC 7	Select Character Set 1
ESC \	Print from All Character Chart
ESC ^	Print One Character from All Character Chart
ESC [T	Select Code Page
ESC [d	Set Print Quality
ESC =	Download Character

5. 1. 2 水平方向移動

BS	Back Space
HT	Horizontal Tab
ESC D	Set Horizontal Tab Stops
ESC R	Set Default Tab Stops
ESC X	Set Horizontal Margins
CR	Carriage Return
ESC d	Relative Move Inline Forward

5. 1. 3 改行

ESC 0	Set 1/8 Inch Line Spacing
ESC 1	Set 7/72 Inch Line Spacing
ESC 2	Active Text Line Spacing
ESC 3	Set Graphics Line Spacing in n/216 Inch
ESC [\	Set Vertical Unit
ESC A	Set Text Line Spacing

5. 1. 4 用紙書式

ESC 4	Set Top of Form
ESC C 0	Set Page Length to m inches
ESC C	Set Page Length to n Lines
ESC N	Set Skip Perforation
ESC O	Cancel Skip Perforation

5. 1. 5 プリンター制御

BEL	Beeper
DC1	Select Printer
DC3	Null
CAN	Cancel Data
ESC U	Set Print Direction
ESC [K	Set Initial Condition
ESC Q	Deselect Printer

5. 1. 6 テキスト印字

ESC [-	Score Select
ESC P	Begin or End Proportional Spacing
ESC [@	Set Presentation Highlight
ESC -	Begin or End Continuous Underline
ESC E	Begin Emphasized Printing
ESC F	End Emphasized Printing
ESC G	Begin Double Strike Printing
ESC H	End Double Strike Printing
ESC S	Begin Superscript or Subscript
ESC T	End Superscript or Subscript
ESC _	Begin or End Continuous Overscore

5. 1. 7 垂直方向移動

LF	Line Feed
VT	Vertical Tab
ESC B	Set Vertical Tab Stops
FF	Form Feed
ESC 5	Set Auto LF on CR
ESC J	Relative Move Base Line

5. 1. 8 その他

ESC W	Begin or End Continuous Double-Wide Printing
SI	Start 17 CPI Printing
SO	Begin Double-Wide Printing by line
DC2	Select 10 CPI
DC4	End Double-Wide Printing by Line
ESC :	Select 12 CPI
ESC I	Select Print Mode

5. 1. 9 グラフィック・コマンド

ESC [g	High Resolution Graphics
ESC K	Normal Density Bit Image
ESC L	Dual Density Bit Image
ESC Y	Dual Density Bit Image Graphics
ESC Z	High Density Bit Image Graphics

5. 2 PPDS 制限事項

- ダウンロード・フォント機能 (ESC =) は使用できません。
- ESC Q 機能は使用しないで下さい。